

R3-05

家庭及び地域と連携した交通安全教室の実施

- 管内 石狩管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 家庭及び地域の関係機関と連携した交通安全に向けた取組の工夫
- 2 警察や民間企業と連携した交通安全教室の工夫

■取組の実際

ねらい

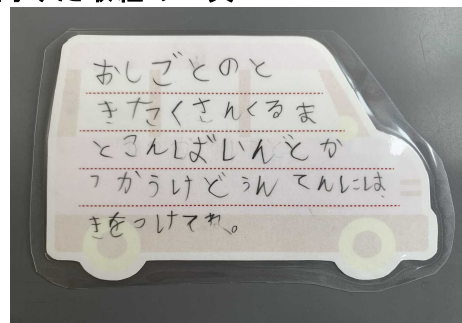
- 家庭及び地域の関係機関と連携し、体験的な交通安全教室を行うことにより、児童が交通事故等の危険性について理解を深めるとともに、交通安全に対する意識を高め、自己の身を守り安全な行動をとるための判断力を身に付ける。

内容

1 家庭及び地域の関係機関と連携した交通安全に向けた取組の工夫

これまでの交通安全教室の実施方法を見直し、学校と市の教育委員会、交通安全推進委員会、地域の運輸業を営む民間企業、警察などの地域の関係機関が連携した取組へと改善を図った。

さらに、市の社会教育担当が用意した「交通安全メッセージカード」を活用し、児童が保護者に向けた交通安全のメッセージを考え、カードを作成するなど、家庭と連携した取組を推進した。



【交通安全メッセージカード】

2 警察や民間企業と連携した交通安全教室の工夫

(1) パトカー乗車体験

警察と連携し、日常的な交通安全に向けた取組や交通安全を意識した歩行や自転車の運転の仕方について理解することができるよう、児童がパトカーに乗車して、サイレンの音を鳴らしたり、拡声器を使ったりするなど、体験的な活動を取り入れた。

(2) トラック乗車体験

地域の運輸業を営む民間企業と連携し、安全な行動をとるために必要な判断力を身に付けることができるよう、大型トラックに乗車して、運転手の視点から見えにくい死角に気付いたり、トラックの周りを歩いて危険な位置を確認したりするなど、体験的な活動を取り入れた。



【トラック乗車体験】

成果と課題

- 家庭及び地域の関係機関と連携し、交通安全に向けた取組や、交通安全教室の実施方法を工夫したことにより、児童の交通安全に対する意識が高まり、交通事故等の危険性を理解し、自己の身を守り安全な行動をとるための判断力を身に付けることができた。
- 家庭や地域と連携し、交通安全に向けた取組を継続的に実施するとともに、交通安全教室における体験的な活動の工夫などを市全体に普及していく必要がある。